

漁海況速報

4-No. 51

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和5年 3月17日～ 3月23日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の東南東40マイル付近を北北東に流れ、
37°30'N 142°30'E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、13～17℃台の水温となっている。

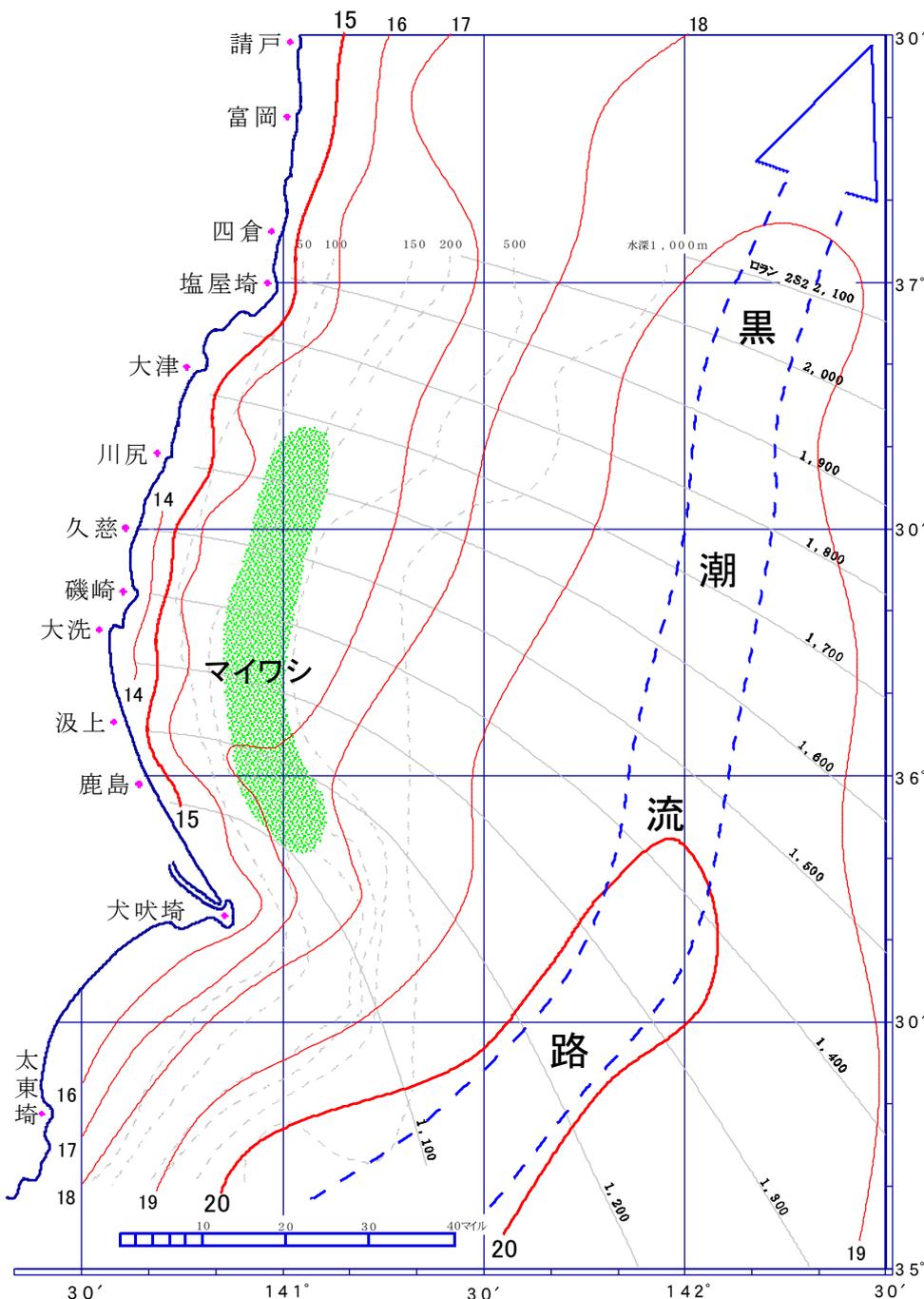
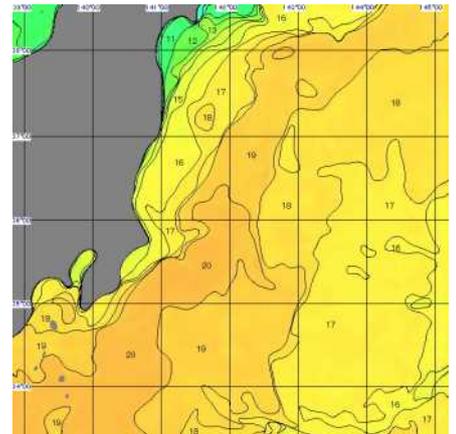
那珂湊定地水温(℃)

日	年 令 5	令 4	平年
3/17	13.4	12.9	10.3
18	13.2	12.2	10.4
19	13.1	12.2	10.4
20	13.2	12.2	10.4
21	13.6	12.3	10.5
22	13.9	11.7	10.5
23	14.5	11.0	10.6
平均	13.6	12.1	10.4

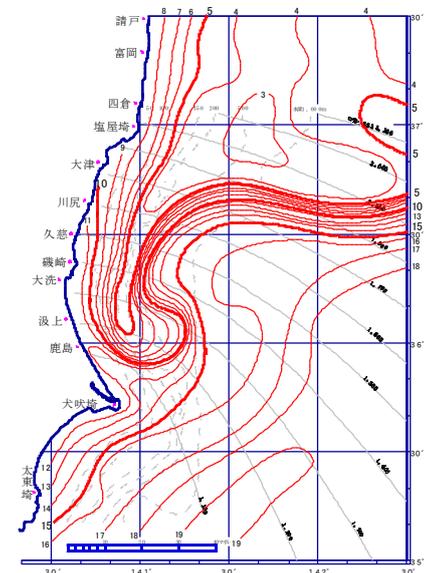
30年平均: 1991～2020年

令和5年 3月17日～ 3月23日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和4年 3月18日～ 3月24日

【海況図】

漁況の特徴

4 - No. 5 1

属地、単位＝四捨五入

3/16～3/22

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
本ジラス	船曳網	那珂湊	26	2,192	55,900	2
		大洗町	9	4,005	35,240	4
シラス	船曳網	那珂湊	15	400	6,000	
		大洗町	24	388	9,300	
カエリ	船曳網	大津	30,040	45	1,340,350	76
サヨリ 大	船曳網	平潟	62	4,280	265,374	8
		久慈町	60	1,684	101,728	8
		那珂湊	67	763	51,206	8
		大津	98	1,817	177,150	4
		久慈浜丸小	604	1,786	1,078,510	5
サヨリ 中		久慈町	873	1,900	1,659,610	8
サヨリ 小		久慈町				
サヨリ 不明		大津				
ヒラメ	小底5t以上	平潟	166	645	107,149	
		大津	96	325	31,119	
		久慈町	98	806	78,960	
		那珂湊	1,654	1,034	1,710,850	
		大津	168	770	129,540	
		固定式刺網	29	1,000	28,700	
		その他釣り	29	452	13,030	
大型定置網	515	453	233,361			
タイ類	小底5t以上	平潟	17	668	11,354	
		大津	16	264	4,220	
		久慈町	21	286	6,000	
		那珂湊	760	583	442,738	
		大津	147	201	29,500	
固定式刺網	238	294	69,974			
大型定置網						
スズキ	小底5t以上	平潟	147	108	15,880	
		久慈町	11	560	6,330	
		那珂湊	195	611	119,155	
		その他釣り	13	577	7,270	
大型定置網	53	511	27,044			
アンコウ	小底5t以上	平潟	296	209	61,771	
		大津	167	233	38,865	
		久慈町	309	233	72,150	
		那珂湊	406	390	158,395	
		会瀬	16	297	4,690	
スルメイカ	小底5t以上	平潟	1,349	388	523,450	
		大津	(40)	5,013	(山売) 201,520	
		久慈町	254	318	80,830	
		那珂湊	137	675	92,405	
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	29,231	676	19,766,666	
		大津	(193)	15,210	(山売) 2,931,020	
		久慈町	4,049	950	3,847,900	
		那珂湊	1,815	1,073	1,946,935	
マダコ	小底5t以上	平潟	11	267	2,880	
ミズダコ	小底5t以上	平潟	56	199	11,156	
		大津	20	425	8,420	
		久慈町	109	267	29,150	
		那珂湊	10	634	6,150	
ホウボウ	小底5t以上	平潟	71	753	53,435	
		久慈町	8	140	1,130	
		那珂湊	107	1,051	112,470	
		大型定置網	40	765	30,592	
アナゴ	小底5t以上	平潟	89	454	40,363	
		大津	94	660	62,205	
		久慈町	52	409	21,290	
		那珂湊	15	868	13,280	
ハマグリ	貝桁網	はさき	18,860	1,141	21,525,192	
マアジ	小底5t以上	平潟	25	268	6,708	
		大津	25	95	2,335	
		久慈町	17	98	1,670	
		那珂湊	11	298	3,130	
		大型定置網	832	185	154,211	
サバ	その他釣り	久慈町	8	300	2,400	
		会瀬	316	111	35,110	
ブリ類	小底5t以上	平潟	11	344	3,755	
		那珂湊	10	509	5,090	
		その他釣り	10	636	6,295	
		大型定置網	60	460	27,677	
マイワシ	小底5t以上	久慈町	53	50	2,665	
		まき網	37,651	55	2,079,696	2
		大津	1,320,821	56	74,575,410	9
カマス	小底5t以上	平潟	102	888	90,620	
		大津	21	729	15,595	

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・大津の東南東10マイル付近から犬吠埼の北北東15マイル付近で5～300トン、良い船で340～420トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

本ジラス・・・那珂湊地先で1～10kg、大洗地先で1～4kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先で200～875kgの漁獲。

ノレソレ・・・大洗地先で1～3kgの漁獲。

サヨリ・・・平潟地先から大津地先で48～56kg(1ヶ統)、日立地先で25～418kg(1ヶ統)の漁獲。

◇曳釣り

平潟地先から高戸地先でヒラメ10～16kg、久慈浜地先から鉾田地先でヒラメ1～40kg、ホウボウ1～10kg、スズキ2～3kg、アイナメ1～2kg、マゴチ1～2kg、イナダ1～5kgの漁獲。

◇手釣り

平潟地先でウスメバル10～20kgの漁獲。

注 延隻数・鉤柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

黒潮の北偏傾向は今後も継続 全層(0~200m深)で「やや高め~高め」で推移

(令和5年3月の海況と今後の予測)

1 海洋観測結果(3/15~16:調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。水温は0m深で13~19℃台、50m深で13~19℃台、100m深で13~18℃台、200m深で10~17℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、黒潮がわずかに離岸したことで犬吠埼沖の全層で降温傾向となりました。会瀬~鹿島の141°E以東では、黒潮からの暖水波及による影響で昇温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、全層で「やや高め~極めて高め」となりました(図4)。
- 潮流は会瀬~鹿島の141°10'E~141°30'Eで逆潮傾向、他で真潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は13~19℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東40マイル、塩屋埼の東75マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は143°E付近で38°30'N付近まで達し、北偏しています(3月17日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 本県沖合域は黒潮が流れ、沿岸域は黒潮からの暖水波及や反流による影響を受けていることから、ごく沿岸を除いて水温が平年よりも高くなっています。ごく沿岸では、黒潮が離岸したことによって沿岸湧昇が起こり、0~50m深で12~15℃台となっています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは今後も継続すると考えられ、141°E以東を中心に全層で黒潮からの暖水波及や反流による影響がみられるでしょう。
- ごく沿岸では沿岸湧昇による水温の低下がみられるものの、暖水波及の影響で水温は平年よりも高め傾向となるでしょう。
- 1か月後の水温は、黒潮とその暖水波及により全層(0~200m深)で「やや高め~高め」で推移する見込みです。

【参考】3月の0m深の平年値(142°E以西の30年間(1991-2020)の平均水温)
(定線別平年値*) 会瀬: 10~12℃台、大洗: 10~13℃台、鹿島: 11~14℃台、犬吠埼: 12~16℃台
詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

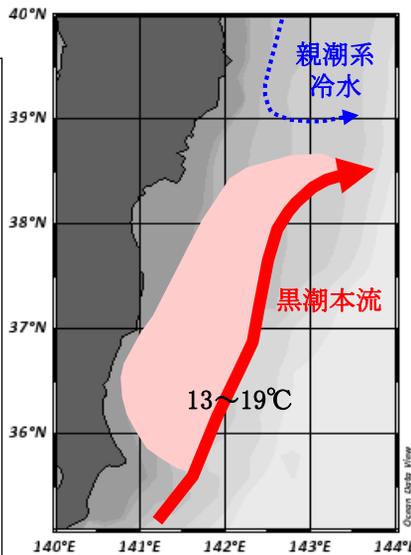


図1. 海況の現況
(3月16日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0~6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

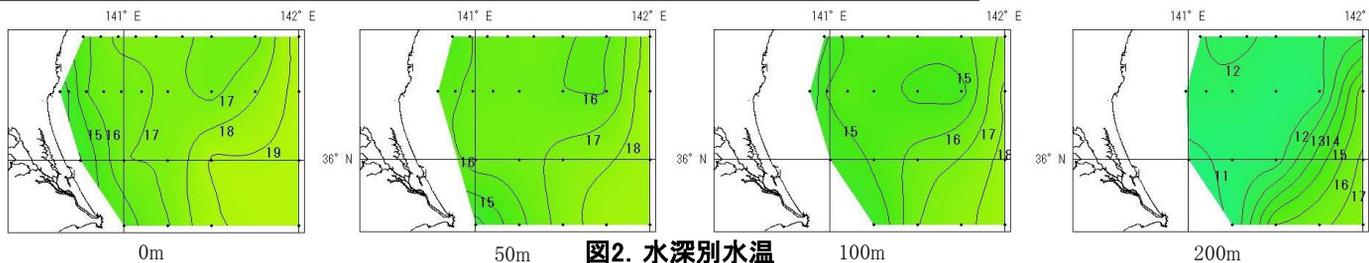


図2. 水深別水温

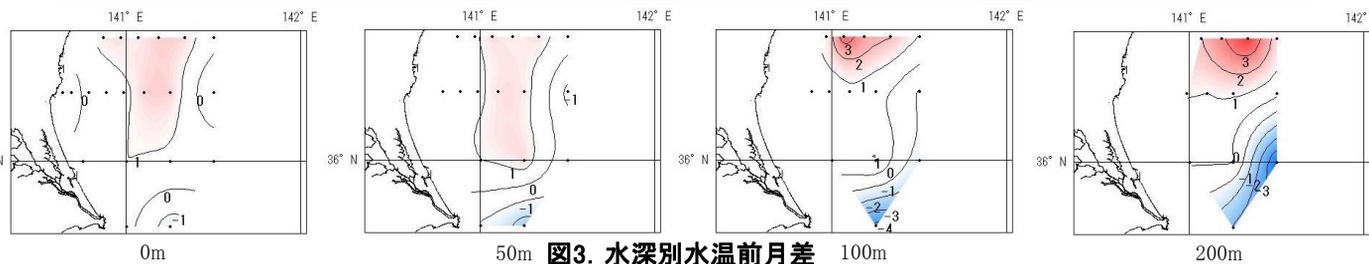


図3. 水深別水温前月差

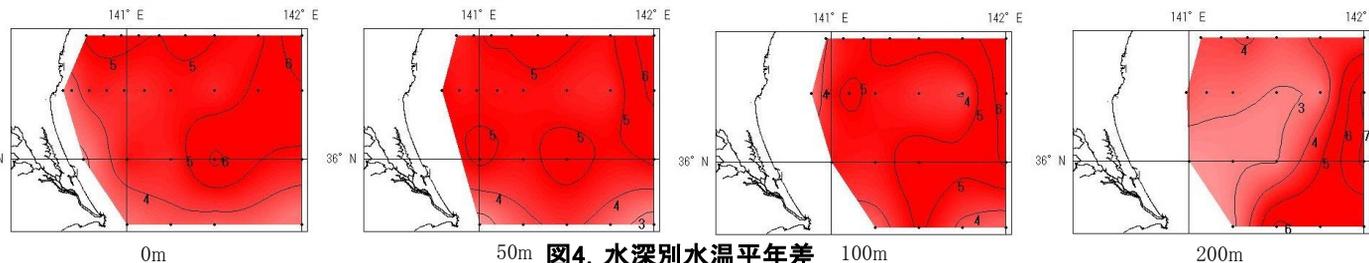


図4. 水深別水温平年差

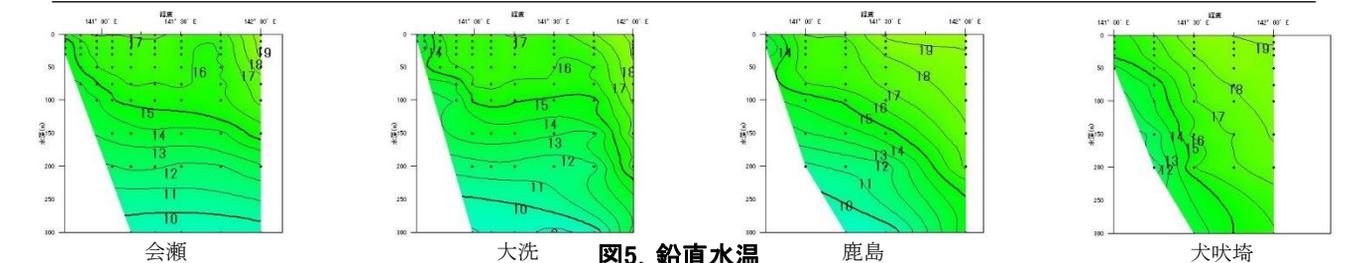


図5. 鉛直水温

底魚資源調査（冬季）を実施しました

水産試験場では、本県沖の主要な底魚類の資源動向を把握するため、H15年から調査船いばらき丸（179t）により年2回（夏季、冬季）の着底トロール調査（オッタートロール）を実施しています。本調査では、本県沖の水深75～450mまでの海域、合計29定点において、15～30分間（速力3～4ノット）網を曳き、面積密度法により本県海域の現存量を推定しています。今回は令和4年12月～令和5年2月に実施した冬季調査結果についてお知らせします。

1 主要な底魚類の推定現存量の推移

H24年度から今年度までの推定現存量の推移を下表に示しました。また、参考として、県で資源評価を行っている魚種については資源水準も記しました。

漁獲対象種の増減傾向を直近5年間の推移から判定した結果、増加傾向にあるのはヤナギムシガレイ、アオメエソ（めひかり）、アカムツの3種、横ばい傾向にあるのはヒラメ、ババガレイ（なめた）、ユメカサゴ（のどぐろ）など7種、減少傾向にあるのはマコガレイ（本まこ）、マダラ、キチジ（あかじ）など7種でした。その他、漁獲対象とはなっていないトラザメ（ねこざめ）は増加傾向、テナガダラ（とうじん）は横ばい傾向でした。

表 推定現存量の推移（冬季トロール調査）

魚種/年度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	傾向	水準※1	過去10年平均※2
漁獲対象種	ヒラメ	365	448	389	466	310	261	221	247	181	156	182	横ばい	中位	304
	ヤナギムシガレイ	35	51	30	48	46	37	52	57	32	65	60	増加	中位	45
	ババガレイ(なめた)	101	80	33	73	25	32	39	10	20	16	21	横ばい	高位	43
	アカガレイ(赤がれい)	221	314	84	96	94	66	73	51	85	25	9	減少	—	111
	マコガレイ(本まこ)	45	11	5	6	46	26	25	31	3	6	6	減少	低位	20
	マガレイ(沖まこ)	62	75	26	13	13	5	6	8	0	0	0	減少	低位	21
	ムシガレイ	89	89	181	162	248	187	416	324	327	406	372	横ばい	高位	243
	ミギガレイ(にくもち)	20	43	26	36	26	56	24	52	41	17	43	横ばい	—	34
	ヤナギダコ(水だこ)	172	202	119	35	105	122	104	74	102	88	52	減少	低位	112
	アオメエソ(めひかり)	69	24	6	25	14	173	30	28	7	370	38	増加	高位	74
	エゾイソアイナメ(どんこ)		107	73	100	577	347	401	223	1,033	402	188	横ばい	—	363
	マダラ	322	505	1,104	401	156	68	63	22	7	7	6	減少	—	266
	アカムツ		0	5	16	1	3	2	3	1	36	7	増加	—	8
	ユメカサゴ(のどぐろ)		13	10	28	11	32	17	45	11	20	14	横ばい	高位	21
	キチジ(あかじ)	0	6	25	3	117	102	71	119	72	38	27	減少	高位	55
	マアナゴ		120	54	126	36	80	60	59	42	145	20	横ばい	—	80
マトウダイ		55	29	31	17	20	86	76	47	30	35	減少	—	43	
参考	トラザメ(ねこざめ)	1,863	2,286	2,236	2,739	3,271	1,843	3,183	2,697	3,465	1,697	5,925	増加	—	2,528
	テナガダラ(とうじん)		2,769	1,177	501	1,154	3,046	3,588	1,582	2,727	2,190	2,340	横ばい	—	2,082

※1:水準:「茨城県産重要魚種の生態と資源」令和5年3月公表予定の資源水準。—は未評価。
※2:エゾイソアイナメ、アカムツ、ユメカサゴ、マアナゴ、マトウダイ、テナガダラは、H25調査から現存量を計算しているため、過去9年平均を記載。

2 ババガレイ（なめた）の資源加入状況

今年度の冬季調査では、小型のババガレイが多く採捕されました。中でも、体長16cm未満（推定3歳未満）に注目すると、本県海域における推定現存尾数はR2年度から増加を続けており、R4年度は、R2年度の3倍を超えました（図1）。このことから、ババガレイの良好な資源加入があったものと推察できます。また、本県におけるR4年のババガレイの漁獲量は統計を開始したH2年以降、3番目に高い数値でした（図2）。水産試験場では、今後も資源動向を注視していきます。（水産試験場 定着性資源部）

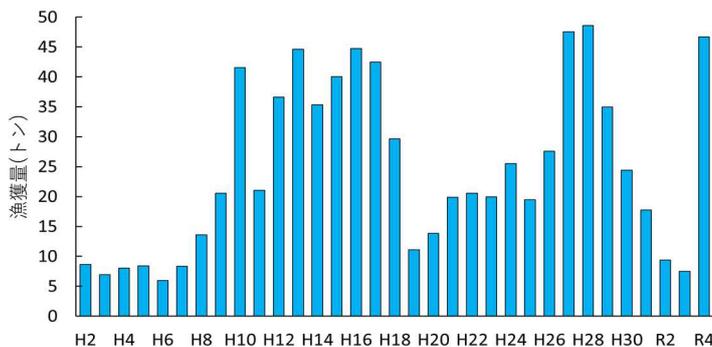
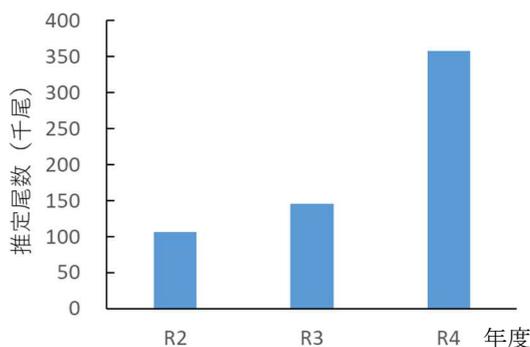


図1 体長16cm未満のババガレイの推定現存尾数

図2 ババガレイの漁獲量(水試システム、属地、1月～12月)

【次回予告】令和5年3月31日発行の水産の窓は「長期漁海況予報会議の結果」を予定しています。